



ETロボコンチャンピオンシップ大会で部門別3位と健闘した橋本講師(後列左)ら青森大のメンバー

ETロボコン全国大会

青森大モデル部門3位

「うれしいけど…悔しい」

全国の企業や大学、専門学校がロボットの走行技術を競うETロボコンチャンピオンシップ大会で、青森大のチームが、プログラムの設計内容が評価されるモデル部門で3位に入る健闘を見せた。メンバーの学生たちは「強豪チームに肩を並べることができてうれしいが、優勝できなかったことはやっぱり悔しい」と話していた。大会は社団法人組込みシステム技術協会の主催。このほど横浜市で行われ、地区予選を勝ち抜いた40チームが出場した。二輪ロボットをプログラミングし、1周約20分のコースを自律走行させる競技で、ゴールまでのタイムやソフトウェアの設計内容などを競った。

東北代表として出場

した青森大ソフトウェア情報学部橋本恭能講師(40)と研究室の学生5人は、コース上のシーソーや階段などの難所にも積極的に挑戦。ほぼ攻略しボーナスポイントを稼いだ。タイムを競う競技部門は10位、総合では4位だった。

チームリーダーの4年田中一歩さん(22)は「残念。タイムが良ければ総合優勝できるチャンスだったのに。調整に甘さがあった」と話し、3年の齊藤将栄さん(21)は「今回、審査員に指摘された欠点を修正し、来年も頑張りたい」と意欲を見せた。

(岡村理穂子)

青森大学
ソフトウェア
情報学部
橋本研究室

東奥日報社 提供